



祥雲閣 で
気軽にお茶を
楽しみましょう



祥雲閣では軽やかな喉越しの中に爽やかな苦みが味わえる「抹茶」と独特の旨味と甘味を味わえる「煎茶」とともに季節の移ろいに合わせて作られた「和菓子」をお出ししています。

気ぜわしい毎日の中で、時間の流れが早く感じられますが、ゆっくりとお茶を味わい、心を癒すひとときをぜひ祥雲閣で過ごしていただければと思います。

祥雲閣の庭園は、岩と石で水の流れを表現した枯山水に枝垂れ桜や紫陽花、夏椿、紅葉、雪吊りした松など四季折々に楽しむ事ができます。

これからの季節は色彩あふれる紅葉の美しさに心が弾みます。紅葉の終わり頃に更に濃く透き通るように残った冬紅葉が見られる頃には立冬を迎え、庭園も寒さに備えて冬支度を始めます。



茶の湯の季節

炉 開 き

10月の終わりから11月初めに茶室では、初めて炉を切る（開く）「炉開き」が行われます。茶の湯において「炉開き」は「茶人のお正月」とも言われ、特別なものです。

茶の湯では11月から翌年4月を「炉（ろ）」、5月から10月を「風炉（ふろ）」の季節としています。寒い季節はお客様からお湯を沸かす釜を近づけ暖かく、暖かい季節は釜を離し涼しくお迎えする「もてなし」の表れです。



「炉」は畳の一部を切って床下に備え付けた1尺4寸(約42cm)四方の囲炉裏の事で、炭火を入れ釜を掛けて、お茶を点てるためのお湯を沸かします。

「風炉」は夏に使われる「炉」のことで畳の上の炉を置き、釜を掛けてお湯を沸かします。

室町時代以前には季節に関係なく、風炉を使っていましたが千利休によって、位置や寸法が決まり現在の形になりました。

※諸説あります。

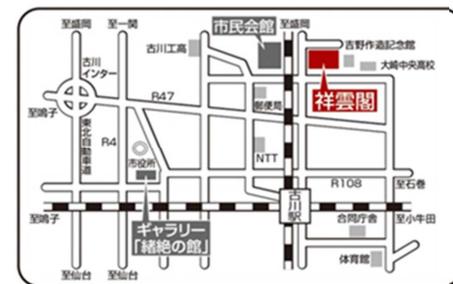


11月							12月							2025.1月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
					1	2	1	2	3	4	5	6	7				1	2	3	4
3	4	5	6	7	8	9	8	9	10	11	12	13	14	5	6	7	8	9	10	11
10	11	12	13	14	15	16	15	16	17	18	19	20	21	12	13	14	15	16	17	18
17	18	19	20	21	22	23	22	23	24	25	26	27	28	19	20	21	22	23	24	25
24	25	26	27	28	29	30	29	30	31					26	27	28	29	30	31	

※ 〇 は休館日です(変更になる場合もあります)。

～ 和の空間で四季折々の庭園を眺めながら
抹茶または煎茶と和菓子を味わえます(有料, 10時から16時)。～

- ◆所在地 大崎市古川福沼一丁目2番2号
- ◆電話 0229-24-3385
- ◆交通 JR古川駅から徒歩約20分
東北自動車道古川ICより約10分
- ◆駐車場 有
- ◆休館日 月曜日(月曜が祝日の場合は翌日)
- ◆入館料 無料



大崎市祥雲閣
令和6年11月14日発行
〒989-6105
宮城県大崎市古川福沼一丁目2番2号
TEL・FAX 0229-24-3385